

新製品 新技術紹介

ソーシャル迷惑電話フィルタ「トビラフォン」

明田 篤

トビラシステムズ株式会社 代表取締役
〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目8番23号
第7KTビル10階
TEL: 052-253-7691 FAX: 052-253-7692
URL: <http://tobila.jp>



開発の動機

祖父が地デジ営業の電話勧誘で被害に遭い、日本が抱える長年の社会問題である迷惑電話を何とか解決しようと思ったのが開発のきっかけです。

迷惑電話の被害・相談件数は、年間8万件近くあり被害額は300億円以上になります。相手が巧みな話術と手段を用いるプロ集団であれば、いくら警察や銀行が注意喚起や対策を行ったところで被害は一向に減りません。

一方で企業の場合は電話番号を公開しないわけにはいきません。個人商店や開業医にとっては、ひっきりなしにかかってくる電話勧誘販売は営業妨害（無駄な人件費、機会損失、サービス品質の低下）にもなります。この問題を解決する最善の方法は何か？

それは電話を取らないこと。つまり迷惑電話を判別して拒否するシステムを作れば良いのではないかと、という結論に達しました。

当社にはサーバー監視ソフトやCTI顧客管理ソフトの開発実績があり、それをベースに既存の電話機に接続するだけで迷惑電話が防止できる「トビラフォン」の開発に成功し、2011年6月から販売しております。

新製品の概要

ユーザーが報告した迷惑電話番号をデータベース化し、ソーシャルフィルタリングします。

電話が鳴る前にナンバーディスプレイ機能により得られる電話番号をデータベース（現在約2万件）と照合し、悪質と判断された場合、電話機自体を鳴らしません。

ユーザーが増えるほどデータベースの精度が高まり、リアルタイムで更新されるため電話番号を変える手口にも対応することが可能となります。

また、ユーザーからの登録だけではなく、警察や国民生活センターが公開している情報をデータベースに登録し、愛知県警と連携し悪質な電話番号を提供していただく実証実験を行い、大変大きな成果を得ることに成功しました。

迷惑電話を自動で着信拒否できるシステムはトビラフォンが唯一となります。

新製品の特長

ユーザー全員で報告して悪質な番号を共有するソーシャルフィルタリングが最大の特長です。インターネットを通じて作成される莫大なブラックリストによって、未知の迷惑

電話番号でも自動的に拒否されます。迷惑電話判別技術に関しましては特許も出願中です。

その他に、使用中の電話機につなぐだけで使える装置本体は、手のひらサイズでシンプルなデザイン、高齢者ユーザーにも操作しやすい大きなボタンと、番号の安全度を表示する3色のLED発光を採用しております。

月額315円（税込）のみで利用できるうえ、イタズラ登録・誤登録防止機能、Webで電話番号の情報管理、「安心お知らせメール機能」（安否確認）を標準機能として搭載しております。

詳しくはトビラフォンホームページをご覧ください。

<http://tobilaphone.com>

今後の展開

大手企業からも導入に関する問い合わせを数多くいただいておりますが、現在、アナログ信号のみの対応となっております。導入が難しい状況であります。ですので、様々なニーズに応えるにはデジタル信号に対応したバージョンの開発が急務であると判断いたしました。開発にご協力いただける企業様がおられましたら是非ご連絡いただければと存じます。

トビラフォンにより日本の電話を安全なものにし、すべての人が安心して暮らせる社会を目指してまいります。



設置イメージ



トビラフォン